

令和6年度 事業執行報告

概況

新型コロナウイルス感染症の収束から約2年が経過し、私たちの社会生活は従来の落ち着きを取り戻すとともに、我々の食協事業も令和6年度は概ね計画どおりに実施することが出来ました。

一方、令和3年6月に完全施行されたHACCP制度については、行政との連携の下に、その実践と定着に向けて普及啓発に取り組んでいるところですが、営業者にとって日常の当たり前の衛生管理として浸透するには、まだまだ時間を要するものと思われます。

食品衛生協会を取り巻く環境は、人口減少による担い手不足、原材料の高騰など社会情勢の変化と相俟って、会員数の減少や収入の減など大変厳しい状況にありますが、人々の生活の基盤となる食の安心・安全の確保に向けて、引き続き、食中毒の発生予防啓発はもちろんのこと、HACCP制度の普及、「あんしんフード君」の加入促進など各種事業に取り組みます。

令和6年度の各事業の実施状況について、次のとおりご報告します。

第1 組織等に関する事項

1 地方食品衛生協会との連携

(1) ブロック会議の開催

公益社団法人北海道食品衛生協会（以下「道食協」という。）と地方食品衛生協会（以下「地方食協」という。）との連携を図るため、令和6年6月から11月にかけて次のとおりブロック会議を開催しました。

ブロック名	開催地方食協	開催場所	開催日	道食協出席者
十勝	池田	池田町	R6.6.3	会長・専務理事
空知	深川	深川市	R6.6.5	専務理事
釧根	根室	根室市	R6.7.8	専務理事
道南	渡島	北斗市	R6.7.10	会長
道北	稚内	稚内市	R6.8.28	会長
オホーツク	紋別	紋別市	R6.8.28	専務理事
中央西	江別	新篠津村	R6.9.25	会長・専務理事
中央南	浦河	浦河町	R6.10.28	会長・専務理事

(2) 全道事務担当国会議等の開催

- ① 開催日：令和6年6月6日（木）
- ② 場所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 出席者：42地方食協の事務担当者、道食協専務理事
- ④ 内容：令和6年度事業計画等について

(3) 食協あり方検討委員会の開催

- ① 開催日：令和6年12月4日（水）
- ② 場所：ホテル札幌ガーデンパレス

③ 出席者：8ブロックの委員及び専務理事

北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課の課長補佐、係長

④ 内 容：令和7年度道食協会費、共済事業の推進、食の安心・安全・五つ星事業の取組み、地方食協からの協議事項等

(4) 各ブロック事務担当者研修会への参加

次のとおり出席し、食協事業等について説明、意見交換を行いました。

ブロック名	開催地方食協	開催場所	開催日	道食協出席者
道 北	留 萌	留萌市	R6.10.10	八木専務

(5) 保健所と食品衛生協会の連携体制の維持・増進

道庁で開催される保健所関係職員の会議、研修に出席し、食品衛生協会の意義、役割、活動内容等を説明し、食品衛生協会に対する関係職員の理解の醸成に努めました。(専務理事対応)

2 公益社団法人日本食品衛生協会との連携

(1) 会議等への参加

① 令和6年度定時総会

ア 開催日：令和6年6月21日(金)

イ 場 所：食品衛生センター(東京都)

ウ 出席者：会長、専務理事

エ 内 容：令和5年度決算報告、令和6年度事業計画について

② 全国支部長会議

ア 開催日：令和6年10月23日(水)

イ 場 所：食品衛生センター(東京都)

ウ 出席者：専務理事

エ 内 容：令和6年度事業の進捗状況報告等について

③ 普及啓発事業委員会

ア 開催日：令和7年2月10日(月)

イ 場 所：食品衛生センター(東京都)

ウ 出席者：専務理事

エ 内 容：各種出版物の販売促進、eラーニングの推進等について

④ 全国支部長会議

ア 開催日：令和7年3月21日(金)

イ 場 所：食品衛生センター(東京都)

ウ 出席者：会長、専務理事

エ 内 容：令和6年度事業の進捗状況、2025年度事業計画等について

(2) 北海道・東北ブロック連絡協議会、大会への参加

① 連絡協議会

ア 開催日：令和6年7月3日(水)

イ 場 所：宮城県仙台市

ウ 出席者：会長、専務理事、書記

エ 内 容：事業計画及び予算、提出議案等について

② ブロック大会

ア 開催日：令和6年7月4日(木)

イ 場 所：宮城県仙台市

ウ 出席者：会長、書記ほか 14 名

エ 内 容：医薬・生活衛生局長表彰、特別講演、食品衛生指導員体験発表

(3) 食品衛生指導員全国研修会への参加

① 開催日：令和 6 年 8 月 27 日（火）～28 日（水）

② 場 所：ロイヤルパインズホテル浦和（さいたま市）

③ 参加者：久保武士氏（室蘭食協）、後藤田勇人氏（室蘭食協）

④ 内 容：HACCP の考え方を取り入れた衛生管理、五つ星事業の活用等

(4) 食品衛生全国大会への参加

① 食品衛生指導員全国大会

ア 開催日：令和 6 年 10 月 23 日（水）

イ 場 所：浅草公会堂（東京都）

ウ 出席者：専務理事、宇都宮圭氏（網走食協）

② 食品衛生功労者・食品衛生優良施設表彰式

ア 開催日：令和 6 年 10 月 24 日（木）

イ 場 所：明治座（東京都）

ウ 出席者：地方食協関係者、会長、専務理事等

3 道食協における会議等の開催

(1) 総会・理事会等

① 令和 6 年度第 1 回理事会

ア 開催日：令和 6 年 4 月 15 日（月）

イ 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

ウ 出席理事及び監事：17 名

エ 決議事項：令和 5 年度事業報告及び決算報告

② 令和 6 年度定時総会

ア 開催日：令和 6 年 5 月 29 日（水）

イ 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

ウ 出席正会員：42 名（会長、専務理事出席）

エ 決議事項：ア) 令和 5 年度事業報告及び決算報告
イ) 令和 6 年度会費額等

③ 令和 6 年度第 2 回理事会（同日午前にも三役会開催）

ア 開催日：令和 7 年 2 月 26 日（水）

イ 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

ウ 出席理事及び監事：17 名（会長、専務理事出席）

エ 決議事項：令和 7 年度事業計画、会費納入額、収支予算案等

④ 表彰審査会

「5 その他事業」の「1 顕彰事業」を参照

(2) ブロック会議

「第 1 組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

(3) 北海道食品衛生大会

「第 2 食品衛生の普及啓発事業」の「1 令和 6 年度（第 62 回）北海道食品衛生大会の開催」を参照

(4) 専門部会・委員会

① 食品衛生指導員部会

「第 3 食品衛生の向上に必要な人材の育成事業」の「2 食品衛生指導員の養成及び

研修」を参照

② 共済部会

「第4 福利事業の推進」の「1 共済部会の開催」を参照

③ 食協あり方検討委員会

「第1 組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

(5) 全道事務担当者会議

「第1 組織等に関する事項」の「1 地方食品衛生協会との連携」を参照

第2 食品衛生の普及啓発事業

1 令和6年度（第62回）北海道食品衛生大会の開催

食品衛生の重要性を周知し、食品衛生思想の普及啓発と食品事業者の自主的な衛生管理体制の充実を図るため、次のとおり開催しました。

① 開催日：令和6年9月4日（水）

② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス

③ 参加者：42 地方食協の役員、事務担当者、発表者、受賞者等

④ 内 容

ア 全道食品衛生指導員体験発表会

ブロック別発表食協は、次のとおり。

空 知	中央西	中央南	道 北	オホーツク	十 勝	道 南	釧 根
深 川	江 別	苫小牧	天 塩	紋 別	池 田	渡 島	根 室

最優秀賞 「小規模な一般飲食店事業者のH A C C Pの取り組み」

田井 秀吉 氏（池田食協）

イ 表彰式典

ア) 北海道知事表彰

食品衛生功労者 15 名

食品衛生優良店舗 13 店舗

イ) 道食協会長表彰及び感謝状

食品衛生功労者 29 名

食品衛生優良施設 42 施設

食品衛生指導事業功労者 43 名

永年勤続職員 4 名

2 食品衛生知識の普及啓発の実施

食品衛生知識の普及啓発を図るため、食中毒等食品事故の防止を内容とした食品事業者や消費者向けパンフレット等を購入あるいは日食協から提供を受けるなどして、食品衛生月間や食品衛生指導員の巡回指導等を活用して配布しました。

また、日食協との共催で実施した「ノロウイルス食中毒予防強化期間」（令和6年11月～7年1月の3カ月間）において、次のとおり食品事業者や消費者を対象とした講習会を開催したほか、リーフレットを配布するなど、啓発活動を実施しました。

開催日	地方食協	開催場所	講習会名	参加人員
R6. 11. 14	小 樽	小樽市	ノロウイルス食中毒予防講習会	32
R6. 12. 11	釧 路	釧路市	ノロウイルス予防対策講習会	24

3 「食品衛生月間」の実施

食中毒が多発する8月を食品衛生月間に設定し、行政と連携する中で、「食中毒ゼロ」へ

挑戦するため、次の事業を積極的に展開しました。

- ① 食品衛生指導員による巡回指導等（42 地方食協）
広報車やパレードによるリーフレットの配布など街頭啓発活動
19 地方食協で実施し 1,356 名が参加
- ② 消費者教室や食中毒予防教室など普及啓発事業
9 会場で実施し 333 名が参加
- ③ 食中毒警報事業（41 地方食協）
食中毒警報発令時に、連絡網や旗・のぼり、垂れ幕等を利用して周知徹底を図り食中毒予防を呼びかけました。

4 苦情防止対策講習会の開催

食品衛生責任者等を対象に苦情の発生防止や適切な苦情処理について、次のとおり講習会を開催しました。

- ① 開催地方食協 13 食協（石狩、岩見沢、砂川、富良野、今金、八雲、静内、広尾、
標茶、天塩、余市、中標津、網走）
- ② 参加人員 384 名

5 月刊誌「食と健康」の購読促進

地方食協役員や会員に対する購読の促進を図っています。

第3 食品衛生の向上に必要な人材の育成事業

1 食品衛生責任者養成講習会・実務講習会の開催

各営業施設での衛生管理の中心的役割を担う食品衛生責任者の養成と資質の向上を図り、自主管理体制を強化するため、各地方食協に事務を委託し、全道各地で講習会を開催しています。

(1) 養成講習会

- ① 開催回数：65 回（当初予定 66 回）
- ② 受講者数：2,891 名（当初予定 3,200 名、達成率 90.3%）

(2) 実務講習会

- ① 開催回数：66 回（当初予定 72 回）
- ② 受講者数：2,701 名（当初予定 3,300 名、達成率 81.8%）

(3) 養成 e ラーニング

- ① 開催回数：通年
- ② 修了者数：2,453 名（当初予定 2,300 名、達成率 106.7%）

(4) 食品衛生責任者講習会講師研修会の開催

- ① 開催日：令和 7 年 3 月 7 日（金）
- ② 場 所：京王プラザホテル札幌
- ③ 出席者：29 名 講師 25 名、道食協から専務理事、書記
北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課の担当係長・専門員
- ④ 内 容：・食品衛生の動向、食中毒の発生状況
・令和 7 年度の衛責講習会の実施

2 食品衛生指導員の養成及び研修

食品衛生指導員制度・運営規程に基づき、食品衛生指導員を養成するとともに、指導員の資質の向上を図るため、研修会を開催しています。

- (1) 食品衛生指導員の委嘱 138 名

食品衛生指導員養成講習会の開催 22 ヲ所

(2) 食品衛生指導員部会の開催

- ① 開催日：令和7年3月5日（水）
- ② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 出席者：11名 8ブロックの委員、専務理事、書記
北海道保健福祉部健康安全局食品衛生課の担当係長
- ④ 内 容：・令和6年度食中毒無事故対策事業
・令和7年度巡回指導の重点指導目標
・食の安心・安全・五つ星事業の推進
・令和7年度全道指導員研修会の開催 など

(3) 指導員研修会の実施

- ① 全道食品衛生指導員研修会
手洗いマイスター認定講習会の開催を予定していたが次年度に延期となった。
- ② 地方食協食品衛生指導員研修会
食品衛生指導員による巡回指導の前や「食品衛生月間」に併せて実施しました。
52回 1,112名参加

(4) 全道食品衛生指導員体験発表会

「第2食品衛生の普及啓発事業」の「1令和5年度（第61回）北海道食品衛生大会の開催」を参照

3 食品衛生指導員による巡回指導

夏の食中毒多発期及び食品が多く出回る年末を中心に、重点指導項目を「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の定着と振り返り～やっててよかったハサップ～」として巡回指導を行い、HACCP制度化について周知するとともに、衛生管理について指導しました。

- (1) 道費補助関係 指導件数 29,145件、参加指導員数 5,002名
- (2) 日食補助関係（旧営業種）指導件数 11,067件、参加指導員数 3,627名
（新営業種）指導件数 28,725件、参加指導員数 10,537名

4 食の安心・安全・五つ星事業

日食協の「食の安心・安全・五つ星」事業に参加し、食品等事業者の自主衛生管理の推進、消費者への適正な情報提供を図りました。

地方食協	承認年月日	参加施設数（R7.3現在）
旭 川	H30.11.27	19施設
室 蘭	R5.5.8	10施設

5 ブロック会議等の開催

「第1組織等に関する事項」の「1地方食品衛生協会との連携」を参照

第4 福利事業の推進

1 共済部会の開催

- ① 開催日：令和6年6月27日（木）
- ② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 出席者：8ブロックの共済部会委員等
三井住友海上火災保険、ジブラルタ生命保険の担当者

2 食品営業賠償共済事業

食品事業者の経営安定及び消費者の利益擁護を図るため、日食協と三井住友海上火災保険(株)との保険契約による食品営業賠償共済並びに「あんしんフード君」への加入を促進しました。

2月末現在の加入総件数は8,988件であり、そのうち「あんしんフード君」は4,166件、達成率は道食協目標7,982件の52.2%となっています。

3 生命共済事業

食品事業者の事故に対応するため、日食協とジブラルタ生命保険(株)との保険契約による生命共済への加入を図りました。

4 火災共済事業

食品事業者の不慮の災害に対応するため、日本食品衛生協同組合が取り扱う火災共済への加入を図りました。

5 食品衛生指導員見舞金事業

活動中の食品衛生指導員等の事故に対応するため、日食協の見舞金制度を活用することとしています。

第5 その他事業

1 顕彰事業

食品事業者の食品衛生意識の向上を図るため、食品衛生の向上に貢献した者、食品衛生上優良な施設などに対する道食協会長表彰を行いました。「第2食品衛生の普及啓発事業」を参照)。

また、日食協会長表彰等の表彰候補者を日食協に推薦し、表彰を受けました(「第1組織等に関する事項」の「2公益社団法人日本食品衛生協会との連携」を参照)。

被表彰者、表彰候補者の選考については、表彰審査会を次のとおり開催し、道食協表彰基準に基づき厳正に審査を行いました。

- ① 開催日：令和6年7月1日(月)
- ② 場 所：ホテル札幌ガーデンパレス
- ③ 出席者：11名(会長、副会長、専務理事、常務理事ほか)
- ④ 決議事項：令和6年度日食協会長表彰等の表彰候補者の選考
令和6年度道食協会長表彰の被表彰者の選考
全道食品衛生指導員体験発表会の発表順番について

2 北海道HACCP自主衛生管理認証制度事業

北海道独自の「北海道HACCP自主衛生管理認証制度」における認証審査会事務局として審査会を開催しました。(専務理事対応)

- ① 審査委員 5名
- ② 開催回数 5回(5月24日・7月25日・10月30日・12月19日・3月18日)
- ③ 認証数 111件(新規20件、更新91件)

3 資材の斡旋・紹介

食品衛生上必要な機材、器具などの物品を斡旋・紹介し、会員の利便を図りました。

4 地方食品衛生協会会員確保対策事業

地方食協への非加入、離脱は、組織の根幹に係わる問題であることから、地方食協の窓口や食品衛生責任者養成講習会、実務講習会の会場等において食品衛生協会を紹介するパンフレットの配布や、「会員の章」の作成など、地方食協と一体となった対応を行いました。

○ 会員の章の作成

- ① 作成枚数 80 枚
- ② 作成地方食協 1 食協（岩見沢）

5 食中毒無事故対策事業

令和6年において会員施設で食中毒の発生がなかった39地方食協に対して、報奨金を支給しました。